

学校名 南大隅町立第一佐多中学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模校ながらも，生徒会役員が中心となって，ボランティア活動に積極的に取り組み，地域との関わりを通して充実した活動が展開されている。</li> <li>・ 当該活動以外にも総合的な学習の時間や地域清掃活動において，生徒主体の活動が展開されている。</li> </ul>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) リサイクル活動の動機・頻度 ① リサイクル活動を始めた動機及び開始年月	<p>○ 平成 24 年 5 月から J R C 活動の一環として，身近なことからできるボランティア活動を進めるために，生徒会役員を中心にペットボトルキャップの回収を始め，各家庭への呼び掛け，町内の役場・事業所への回収ボックスの設置を行っている。</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>○ 第一佐多中エコキャップ活動</p>
③ 月間又は年間活動回数	<p>○ 毎月第 1 週目のボランティア週間に各学級で代議員がペットボトルキャップ回収を呼び掛けている。</p> <p>○ 町内の役場，事業所等にペットボトルキャップ回収ボックスの設置を依頼し，月に 1 回程度，回収を行っている。</p> <p>○ 生徒会役員が毎月 1 回（第 4 金曜日），回収したペットボトルキャップの重量を計量し，学期末に町の社会福祉協議会へ持参している。</p>

項 目	活動内容等			
④ 活動のエリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各家庭，各学級</li> <li>○ 南大隅町内の役場及び事業所</li> </ul>			
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各家庭での回収・・・・・・・・・・23人（全校生徒）</li> <li>○ 学校での回収及び集計・・・・・・5人（生徒会役員）</li> </ul>			
⑥ 活動1回当たりの平均時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校での回収及び集計・・・・・・10～15分</li> </ul>			
⑦ 取り扱った回収実績数量				
	品 目	2021 年度	2022 年度	2023 年度
	ペットボトルキャップ	50.1kg	47.5kg	49.6kg
⑧ 回収した缶等の処分方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒会役員が每学期1回，回収したペットボトルキャップの重量を計量したものを南大隅町の社会福祉協議会に持参している。</li> </ul>			
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第一佐多中エコキャップ運動は，SDGs教育と関連付けたリサイクルの促進，CO<sub>2</sub>の削減，発展途上国の医療支援につながる身近なことからできるボランティア活動である。 令和2年度から，生徒用玄関に毎月の各学級の回収量をグラフ化（見える化）し，生徒のリサイクル活動への意識の高揚を図っている。 また，各家庭からの回収だけでなく，地域の役場や事業所に協力をお願いしている。</li> </ul>			

様式3 (リサイクル推進活動用 -3)

項 目	活動内容等
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	○ 各家庭での回収の呼び掛けや回収ボックスを各事業所に設けることにより、ペットボトルキャップ回収はもとより、その他のリサイクルへの意識が高まってきている。
② 地域住民との協力活動	○ 役場や事業所へのペットボトルキャップ回収ボックス設置及び回収を行う。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	○ これまでの活動の成果もあり、役場等の回収ボックスへの持ち込みだけではなく、卒業生や地域の方々も学校へ持ってきていただいております。地域ぐるみの活動になってきている。
(4) 環境教育との関連	
① 環境教育と活動との結びつき	○ 本校の環境教育目標として、「人間と環境との関わりについて理解を深める、豊かな自然等への価値について認識を深め、環境を大切にしようとする心を養う、環境問題や環境保全に主体的に関わり、責任ある行動がとれる態度を育成する」を設定し、全教育活動での環境教育を推進している。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	○ リサイクル活動への意識の高揚だけではなく、普段の清掃活動への時間いっぱい無言作業に取り組む姿勢が見られるようになっている。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>○ 令和4年度から、地域の方々との交流を深めることを目的とし、小学校、中学校、地域の方々と一緒に、「佐多っ子クリーン大作戦」と称して、佐多校区にある伊座敷港周辺の清掃作業を行った。(令和5年度は雨天のため中止)</p> <p>○ 毎月第3土曜日の朝、地域の清掃活動である「南端まちづくり活動」に参加している。</p>

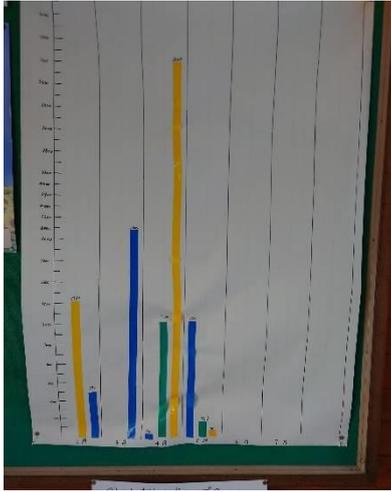
様式3 (リサイクル推進活動用 -4)

項 目	活動内容等
<p>(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)</p>	<p>なし</p>
<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<p>○ エコキャップ活動 (呼び掛け・校内回収) 金曜日の朝の生徒会活動の時間 (役場・事業所への回収) 月に1回, 職員が回収 (重量の計量) 昼休みの生徒会定例会終了後</p>
<p>3 その他特記事項</p>	

# 1 活動状況等について

## (1) リサイクル活動の動機・頻度

本校では、平成24年5月からJRC活動の一環として、身近なことからできるボランティア活動を進めるために、生徒会役員を中心にペットボトルキャップの回収を始め、各家庭への呼び掛け、町内の役場・事業所への回収ボックスの設置を行っている。



【生徒会掲示板の回収状況】



【ボランティア強調週間ポスター】



【生徒会役員による活動の様子】



【町福祉協議会への持ち込みの様子】



【ペットボトルキャップの計量】

(2) 活動の独創性，活動の特徴

第一佐多中エコキャップ運動は，SDGsの観点から，リサイクルの促進，CO<sub>2</sub>の削減，発展途上国の医療支援につながる身近にできるボランティア活動である。また，各家庭からの回収だけでなく，地域の役場や事業所等，多方面に渡り協力をお願いしている。

(3) 地域への貢献度

各家庭への回収の呼び掛けや回収ボックスを事業所に設けることにより，リサイクル活動への意識が高まっている。また，これまでの成果もあり，卒業生や地域の方々も学校へ持ってきていただいており，地域ぐるみの活動になってきている。

(4) 環境教育との関連

ア 環境教育と活動との結び付き

環境教育全体目標の中に「人間と環境との関わりについて理解を深める」，「豊かな自然等への価値について認識を深め，環境を大切にしようとする心を養う」，「環境問題や環境保全に主体的に関わり，責任ある行動がとれる態度を育成する」とあり，ペットボトルキャップ回収という身近な活動を通して，環境について考える取組としている。

また，各教科において，SDGs教育の観点からも授業を行い，生徒一人一人の意識を高める工夫をしている。

イ 当該活動以外の環境教育実践活動

(7) 佐多っ子クリーン作戦

令和4年度から，地域の方々との交流を深めることを目的とし，小学校，中学校，地域の方々と一緒に，様々な活動に取り組んでいる。令和4年度は，「佐多っ子クリーン大作戦」と称して，佐多校区にある伊座敷港周辺の清掃作業を行った。令和5年度は雨天のため中止となった。



【海岸清掃作業の様子①(令和4年度)】 【海岸清掃作業の様子②(令和4年度)】

- (イ) 「南端まちづくり活動」への参加  
毎月第3土曜日の朝，地域の清掃活動に近隣の生徒を中心に参加している。



【清掃作業の様子①】



【清掃作業の様子②】



【清掃作業の様子③】